



鳥取県立倉吉東高校同窓会

関西鴨水会会報

第6号

発行人 山本康夫

関西鴨水会会員の皆様へ：関西鴨水会会長 山本康夫

去る6月23日に道頓堀ホテルにて、講演会・総会・懇親会を開催しました。

今年は昨年以上の参加者の増大を図るべく、「昨年不参加の会員を勧誘いただいた会員には年会費を免除」という施策を実施しましたが、その効果も少なく、昨年より約10名少ない参加者となりました。一方、地元倉吉からは、藤井鴨水会長、福光学校長、広田市長はじめ、各地より大勢の来賓の皆様にご参加いただきました。

ところで、本年10月から郵便料金が値上げとなります。年会費2,000円を維持していくためには郵送による会員への各種ご案内を見直さざるをえません。

現在は会報などを会員全員に紙で送付していますが、経費削減のために今後はメールアドレスをお持ちの会員にはメールでご案内することも検討していきます。この点何卒ご理解賜りたく存じます。

来年の総会は6月22日の予定です。今年実施した総会参加増大策を来年も実施するかは未定ですが、今年ご参加の皆様はもちろんのこと、しばらくご参加されていない会員もお誘いいただき、一緒にご参加いただきますようお願い申し上げます。



◆ 講演会：「倉吉弁の矜持」桑本裕二様（昭和61年卒）

桑本裕二様(言語学者、琴浦町教育委員会日本語学習指導員)にご講演いただきました。

まず「倉吉弁」は「鳥取県中部（倉吉市および東伯郡）で話されている言葉」と使用区域を明確化。そして、鳥取県中部と県内外の他地域との物的・人的な交流の経路からこの地方に独自に根付いた言葉（=方言）と定義。確かに、鳥取県中部の山陰自動車道や鉄道の整備は立ち遅れており、「交通の便の悪さが外部の人との交流を阻害し方言として保存された」という説は説得力がありました。

また、私たちが関西圏で生活する中で「意識的あるいは無意識に倉吉弁を隠していても、つい油断すると発する言葉のイントネーションや発音によって『非関西人』であることがバレてしまい、ちょっと恥ずかしい思いをするが、会話の相手が同郷人であると判明した途端に無条件にお互いが親近感を覚える」という経験はみなさんも一度ならずあると思います。

交通網・放送網の整備やネットの普及により、関西弁を始めとして各地の方言が日本国内で混ざり合い、そこに若者言葉が入ってきて、何が標準語で何が方言か判らない状況になっていますが、私たちが少なくとも高校時代までは使っていた懐かしい「倉吉弁」を「大事にせにゃあいけんだけえ！」と実感したひと時でした。



◆ 総会 来賓代表あいさつ



鴨水同窓会会長
藤井武親様



倉吉東高校校長
福光浩様



倉吉市長
広田一恭様



◆ 懇親会

● 乾杯前にテーブルごとに記念写真



来賓のみなさん



来賓のみなさん



昭和 27 ~ 33 年卒のみなさん



昭和 34 ~ 39 年卒のみなさん



昭和 41 ~ 43 年卒のみなさん



昭和 47 ~ 50 年卒のみなさん



昭和 51 ~ 55 年卒のみなさん

● 乾杯! 平田昌三さん、村岡志朗さん(昭和27年卒)



● 来賓あいさつ



倉吉鴨水館理事長
杉本美智子様



東京鴨水同窓会会長
倉都康行様



東海鴨水会事務局長
可世木博様



野球部後援会長
前田幸広様

● 倉都会長へのサプライズ誕生祝



鳥取県関西本部課長補佐
盛山勝一郎様



鳥取県協働参画課
塩谷慶久様



● 枇杷紘一郎様（昭和33年卒）と奥様の喜代子さんによる独楽回し

日本各地の珍しい「飛び出し独楽」、「鳴り独楽」、「暴れん坊独楽」、「逆立ち独楽」などが紹介されました。そして、日本昔話を題材とした「からくり独楽」を用いての実演には一同、拍手喝采を送りました。ぴったりと息の合ったご夫婦の独楽回しを拝見して、年齢を重ねれば重ねるほどお互いを思いやり、助け合うことの大切さを改めて感じました。



● 校歌合唱



みなさんから近況報告をいただきました (出欠連絡ハガキより)

卒 年	氏 名 (旧姓)	近況報告 (幹事への労いや盛会お祈りのお言葉は紙面の都合上割愛しました)
昭和27	小林 (小谷) 裕子	会報楽しみにしています。
昭和27	西 村 憲 一	来年は村岡、平田両兄と参加できることを祈念しています。
昭和27	松本 (斉木) 美智子	何とか元気で暮らしています。
昭和27	村 岡 志 朗	年齢とともに体力減退やまず、健康第一に。
昭和28	西 村 謙 之 助	何とか健康維持しています。老々介護に近い生活になっていますがもう少し頑張りたいです。
昭和32	神 崎 和 則	昨年より脊椎管狭窄症を患い歩行に難渋し遠出ができません。
昭和33	田中 (田上) 照子	元気に動いております。
昭和34	福 本 豊 志	84歳になり老化激しく行きたくても行けません。
昭和37	河 井 昌 治	最近ふる里を懐かしく思うことが多くなりました。人生のまとめのつもりで少しづつエッセイを書き続けています。
昭和40	岩 田 幸 夫	現役で仕事をしております。次回はぜひお会いしたいと思っております。
昭和40	光 田 恵 美 子	お店の仕事をしながら元気に頑張っています。
昭和41	原 長 生	大阪市教職員退職者会会長職2期4年を退任し、相談役として大阪市教育現場の支援活動に取り組んでいます。
昭和41	桑 原 久 枝	和歌山県南部、紀南に住んでいます。世界遺産の熊野古道が近くにあり外国人が多く訪れます。
昭和43	岡 本 美 都 夫	出席できませんがしっかりと盛り上げて下さい。小生はグランドゴルフを楽しんでいます。
昭和43	加 藤 幸 洋	5年ぶりに但馬空港から往復で参加します。近畿山陰自動車道の整備で出石から湯梨浜町まで2時間で行けるようになりました。
昭和43	河 本 幸 人	ある病気のため、ここ4年間入退院を繰り返しております。
昭和43	穀 内 純 江	開業医を続けながら、月2回のピアノレッスンに三宮まで高速バスで出かけています。
昭和44	森 敏 子	元気でおります。皆様のご健勝を願っております。
昭和49	芦 崎 幸 弘	鳥取市に単身赴任でなかなか関西に帰れず、お会いできることを楽しみにしています。「大山の頂上を保護する会」のボランティア活動も行っています。
昭和50	川 崎 和 子	孫の世話の合間にハイキングを楽しんでいます。
昭和50	滝沢 (遠藤) はるみ	ステップアップのために、身体のメンテナンス中です。皆様お元気で!!
昭和50	村 岡 一	先日のS50年卒同窓会では話が尽きない楽しいひと時を過ごすことができました。6/23は介護帰省のため欠席です。
昭和50	堀 尾 雅 俊	今年4月より完全に「サンデー毎日」となりました。
昭和53	市 橋 清 美	41年間勤務した会社を今年退職予定。GWを利用して2Wインド旅行に。アメージングな経験でした。

総会にて以下について承認されました。

【1号議案】2023年度 (令和5年度) 収支決算書

自：2023年4月1日 至：2024年3月31日

項 目	金額 (円)	内 容
前年度繰越	554,413	
収入の部	年会費	254,000 総会日：43名86,000円、振込：84名168,000円
	総会会費	382,000 男性：46名322,000円、女性：12名60,000円
	寄付	14,000 総会日：9名9,000円、振込：4名5,000円
	雑収入	1 銀行利息
	計	650,001
支出の部	会議費	357,468 総会費：324,490円、役員会補助費(2回)：32,978円
	通信費	75,516 郵送料(総会案内等発送料)、総会返信はがき代、コピー代
	文具・事務費	8,980 宛名シール、プリンターインク代
	運営費	40,000 2023年度総会講演謝礼、会長：東海/東京鴨水会総会出席
	印刷費	133,650 角2封筒印刷、会報印刷(122,100円)
	その他	1,860 振込手数料
	計	617,474
差引残高(次年度繰越)	586,940	

【2号議案】2024年度役員

(一部変更)

役 職	氏 名	卒 年
会 長	山 本 康 夫	昭和50
副 会 長	佐 々 木 進	昭和47
	堀 尾 雅 俊	昭和50
	陶 山 哲 也	昭和51
顧 問	立 光 齊	昭和40
参 与	山 本 幸 正	昭和39
常 任 幹 事	濱 根 準	昭和29
	三 好 修 二	昭和36
幹 事	久 保 田 律 子	昭和41
	安 田 浩 章	平成14
会 計 幹 事	原 長 生	昭和41
	木 山 智 道	昭和50
会 計 監 査	仲 倉 由 紀 子	昭和47

編集後記

昨年の編集後記にて触れた伯桜鵬。けがによる二場所連続休場により十両・幕下に陥落。宮城野部屋から伊勢ヶ濱部屋への転籍という困難な状況下、名古屋場所では復活の兆しを見せました。一方、倉吉の英雄、猛牛「琴櫻」の孫「琴ノ若」は大関昇進二場所目に「琴櫻」を襲名。琴櫻・伯桜鵬が東西の横綱を張っていることを想像(妄想?)する今日この頃です。(陶山)